



扱い：配布を以て解禁
平成30年 7月23日

記者発表資料

平成29年度完成 優良業務委託事務所長表彰式を行います

優良業務委託の表彰は、北陸地方整備局所管の業務委託に関し、その施工及び成果が優秀であって、他の模範となるものを選定し表彰するものであり、建設技術の向上と事業の推進に資することを目的としています。

この度、北陸技術事務所が所管する平成29年度完成の優良業務委託及び優良建設技術者が決定しましたので、事務所長表彰を下記により執り行います。

記

1. 日時 平成30年7月27日（金） 13時30分から
2. 会場 国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務所 会議室（1階）
新潟市西区山田2310番地5

同時発表記者クラブ
新潟県政記者クラブ
新潟県政記者クラブ
新潟県内専門紙

お問い合わせ先
国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務所
副所長 樋口 淳一 内線204
新潟市西区山田2310番地5
電話 025-231-1281（代表）
FAX 025-231-1282

平成29年度完成 優良業務委託事務所長表彰について

1 目的

優良業務委託の表彰は、北陸技術事務所所管の業務委託に関し、その施工及び成果が優秀であって、他の模範となるものを選定し表彰するものであり、建設技術の向上と事業の推進に資することを目的としています。

2 選定要件

業務目的を十分理解のうえ、調査・解析等の専門技術力、工程・品質等の管理技術力に優れ、的確な成果の取りまとめを行うとともに、課題解決に向けた積極的な取り組みが見られるなど、他の模範となるものを選定しています。

3 選定結果

優良業務（事務所長表彰）

受注者	業務名
パシフィックコンサルタンツ 株式会社 北陸支社	へいせい ねんどさいがいじ じょうほうしゅうしゅうりよくこうじょう ちいきれんけい 平成29年度災害時における情報収集力向上と地域連携を しえん けんとうぎょうむ 支援するシステムの検討業務

優良建設技術者【委託業務】（事務所長表彰）

業務の役職	受注者	業務名
管理技術者	パシフィックコンサルタンツ 株式会社 北陸支社	へいせい ねんどさいがいじ じょうほうしゅうしゅうりよくこうじょう 平成29年度災害時における情報収集力向上と ちいきれんけい しえん けんとうぎょうむ 地域連携を支援するシステムの検討業務

平成29年度完成 優良委託業務〔事務所長表彰〕

受注者	パシフィックコンサルタンツ株式会社 北陸支社	事務所名	北陸技術事務所
	支社長 吉橋 章	業務名	平成29年度災害時における情報 収集力向上と地域連携を支援する システムの検討業務
	新潟県新潟市中央区 天神一丁目1番地	工期	平成29年7月21日 ～ 平成30年3月20日
		請負金額	20,628 千円
選定理由	<p>本業務は、災害時の緊急対応において、北陸地整内及び地域との情報共有、情報収集力の向上のための基幹的な役割を担う「防災情報化共有化システム」の改良を行うものである。</p> <p>近年大規模災害が頻繁に発生している状況下において、各種課題に対する的確なシステム検討と、それらの課題に臨機対応した工程計画のもと業務を進める必要がある。</p> <p>受注者は、システム開発に際し、工程や設計において、関係者との調整を綿密に行い、開発するシステムの本運用に先立ち、説明会や実証実験を行い、この時に判明した不具合や課題を解決し、以下に示す機能の向上を図った。</p> <p>①防災対応職員の災害時の初動連絡(概括的被害状況報告)の手段として、貸与携帯電話が従来の携帯電話からスマートフォン等に更新されたことで、専用アプリケーションを開発・検証し、操作性を飛躍的に向上することに寄与した。</p> <p>②「北陸とおれるマップ(仮称)」の改修にあたり、よりリアルタイムな道路状況を取り込むことを目的に、全国に先がけETC2.0プローブ情報を取り入れるシステムとするため、データの提供元となる関東地整並びに道路部との調整に必要な検証・資料作成を実施した。</p> <p>③北陸地整管内の関係自治体の「災害体制」「被災情報」「避難情報」をアラート情報より情報収集し、本部対策室で表示システムの概略設計と工程表作成のため、関係機関からの情報収集や防災会議に向けた資料を的確に作成した。</p> <p>受注者は、本業務を責任感と十分な技術力を持って遂行し、完成させた。</p>		

平成29年度完成 優良建設技術者【委託業務】〔事務所長表彰〕

技術者	伊藤 孝司 (管理技術者)	事務所名	北陸技術事務所
	パシフィックコンサルタンツ株式会社 北陸支社	業務名	平成29年度災害時における情報 収集力向上と地域連携を支援する システムの検討業務
	新潟県新潟市中央区 天神一丁目1番地	工期	平成29年7月21日 ～ 平成30年3月20日
		請負金額	20,628 千円
選定理由	<p>本業務は、災害時の緊急対応において、北陸地整内及び地域との情報共有、情報収集力の向上のための基幹的な役割を担う「防災情報化共有化システム」の改良を行うものである。</p> <p>近年大規模災害が頻繁に発生している状況下において、各種課題に対する的確なシステム検討と、それらの課題に臨機に対応した工程計画のもと業務を進める必要がある中で、管理技術者は以下のとおり対処した。</p> <p>官携帯電話がスマートフォン等に11月に切り替わり、従来のシステム(概括的被害状況報告)から、操作性を高めたアプリ(事象選択と写真添付)に全面的に改良し、実証実験を踏まえシステムとマニュアルも改良した。</p> <p>全国に先がけ、ETC2.0プローブ情報を取り入れた「北陸とおれるマップ(仮称)」を2月から試験運用を開始するため、関東地整並びに道路部との調整を図った。</p> <p>北陸地整内の関係自治体の「災害体制」「被災情報」「避難情報」をアラート情報より情報収集し、本部対策室での表示システムの概略設計と工程表作成のため、関係機関からの情報収集並びに防災会議に向けた資料を的確に作成した。</p> <p>管理技術者は、関係機関との調整を円滑に進め、システム改良に関して90%以上の者が成功するなど、完成度が極めて高かった。</p>		